

「やりがいをもって働いていくために」

職場管理者・ 職場管理補佐研修

一月十八日（火）、職場管理者・職場管理補佐研修がZoomによるWeb開催にて行われました。

講師に全日本民医連事務局次長、長野県民医連事務局長の岩須靖弘氏を迎え、全日本民医連職員育成指針二〇二一年版を参考にしながら、民医連の目指す職員育成の指針や育成のために職場には何が求められるかなど幅広い内容を分かりやすく説明いただきました。

今後働いていく中で参考にしたい話が沢山ありましたが、特に職場を一人一人の職員が自己肯定感を持って活動できる場にすることが必要という話が印象に残っています。忙しい環境の中ではきちんとした振り返りと評価を行う余裕がないこともありませんが、やりがいをもって働いていくためにも職場環境については考えていかなければならないと感じました。

（ファルマ弘前薬局／小田切望）



参加者感想をご紹介（一部抜粋）

◆講演の感想

- 「綱領の根底に流れる理念」「高い倫理観」等のキーワードから、仕事をする上で、どんな事を最も大事にしていくのか、という事を常に学び、確認し、働く仲間と共有していくことが大切だと学んだ。そのための実践として、日々の患者様や利用者様への関わりや、事例検討会を通して、背景にある「なぜ」「そうさせてしまっているのは何か？」等にアンテナを張って行くことや、多職種が連携して問題意識を共有していける職場づくりが必要だと思った。
- 患者のために「どうするか」「もっとできることはないか」にこだわり、制度などの矛盾に悩み、それを患者、家族、地域と共有し、共同して解決を目指し行動することが民医連の良さであり、そのために高い倫理観と変革の視点を持ち、協働する力が職員の成長に期待されるという内容が今回の研修で学びとなりました。

◆講演を職員育成でどのように活かしますか？

- 自分ひとりだけでは成長できず、周りの仲間がいるから成長出来る。また、職員育成も他職種や職場の仲間と支えあって、色んな経験をさせながら育成していきたい。
- 育成指針の「職員の成長ポイント」を活用し、ハラスメントのない一人ひとりの役割発揮ができる職場づくりのために、職場管理者の役割5つについてこれまでを評価し課題や方法を考えていきたい。自分の職場は多職種がより協働していくためにも、互いの専門性を理解し高めあい、育ち合う職場を目指して今回の研修で学んだことを発信してしていく。
- 意見を言いやすい環境づくりをしたい。また自分については発言するしないに関わらず常に自分はどうか、自分の意見を持つようにしたい。

今年度二回目の医師総会を

オンラインで開催しました。

第52回 県連医師総会

一月二十二日（土）午後、今年度二回目

となる医師総会をオンラインで開催し、職

員八十四名（うち医師四十五名）が参加し

ました。アンケート結果（回答者四十四名）

を引用しながら報告します。

慶應義塾大学で六か月間研修した有明医師の報告からは、多くの指導医の下で研修できた充実感が伝わってきました。現在弘前大学病院にて初期研修中の高橋咲医師は、健生病院での研修で培った視点が今に生きていると語りました。

前回から取り組み始めた「県連全医師『100ボイス』」は、二〇二一年度に入職された医師を中心に七名から発言いただきました。100ボイスは大人気で、継続を望む声がたくさん寄せられています。数年かけて県連内の全医師から一言いただく予定です。

三事業所からコロナ対応報告を受けました。藤代健生病院・関谷院長からは「精神障害を持つ患者がひとりの人間として標準的な医療を受ける権利がある」との思いが語られました。「人権c a f e」等での学びを通して、人権へのアンテナを高くしようと



する民医連の取り組みと通じる発言でした。「各病院でのコロナ対応について初めてちゃんと聞いた」との反応がありました。

二〇二二年度は健生病院が史上初のフルマツチを達成し、十名の研修医を迎える予定です。今までにない受け入れ体制の整備が求められますが、県連の力を結集して医師研修を成功させることが呼びかけられました。また、「働き過ぎの上級医を見ていると、同じようには働けないと思う。」との率直な発言もあり、医師の働き方改革への対応が待ったなしであることも共通認識になりました。

総会の動画をYouTubeで限定公開しています。アクセス方法等詳しくは医師委員会ニュースをご確認ください。

（青森民医連 事務局次長／篠原奈緒）

変革の視点で自分の職場を分析してみよう

全日本職員育成 活動交流集会

昨年12月24日、全日本民医連職員育成活動交流集会が全体で418名の参加で開催され、全日本民医連岩須事務局次長より12月17日に確定した「全日本民医連職員育成指針2021年版」について説明がありました。

指針の全国討議を踏まえた修正点、指針の性格、民医連の組織文化としての「人権尊重」と「共同のいとなみ」、これらに裏打ちされた高い倫理観、人権をめぐる医療・介護、社会問題を解決するための変革の視点について特に強調されていました。また指針の作成に先立ち、職員育成部による職員70人にインタビューした結果、民医連職員として成長の契機となったこととして、いい仲間との出会い、学習、いい仕事、役割の発揮と評価、安心でき成長できる職場があげられており、重要なことと思います。

育成指針は理論的にも、運動・実践的にも鍛え上げられた内容となっており、それだけに高い目標が掲げられています。一方各職場の現状は掲げられた目標からほど遠く、問題だらけである可能性があります。この場合、自らの職場にどんな問題があるのか育成指針の視点から分析し、職場の問題の本質をつかみ、管理部とも相談しながら職場改革を実践していくことが大事だと思います。変革の視点は自分と職場分析にも活かしていくべきです。そして職場の年度方針に育成指針の目標をきちんと掲げて実践することが重要だと考えています。

（津軽保健生協副理事長 県連教育委員会委員長／三浦良成）

2022
年度

県連介護福祉士 研修交流会

12月18日、Zoomにて2021年度青森県民医連介護福祉士研修交流会を開催し、職員46名が参加しました。講師には協立訪問看護ステーション ほぼえみ支所の在原所長を招き「コロナ禍において 自分らしく生きるためには ～多職種連携で高める力～」について話しました。



研修会では、各法人の指定報告をして頂いたのちに、「ACP」をテーマに在在所長に講演をいただきました。講演後にはグループワークを行い、各法人の取り組みやACPにおける自分たちの役割や多職種に求めることなどを話し合いました。多職種の役割や職域を理解・尊重しあうことが大切で、利用者の生活に関わる介護職だからこそ、利用者の思いをくみとり、寄り添う支援をすることが大切だと感じました。

Zoomでの初めての研修会となり、多少のトラブルはありましたが、参加者の皆さんの機転により大きなトラブルもなく終えることができました。次回は、会って交流ができることを楽しみにしています。

(デイサービス つつみ／石塚理仁)



冬休み「高校生医師体験」開催

2021年 12/25.27
2022年 1/6. 1/29
全4回で高校生延べ121名が参加しました。(オンライン開催)

医師を目指す高校生へ実技指導！

医師を目指す高校生を対象に対面での「高校生医師体験」を開催しました。生徒や進路指導の先生方の強い要望もあり、一年振りの実現です。縫合、AED心肺蘇生法、気管挿管、ポータブルエコー、聴診器等、直接医師やスタッフから実技指導を実施しました。生徒からは「今まで対面でできる機会が無かったので、実際に自分の目で見て、体験することが出来て本当に良かった。今まで以上に医師になりたいと感じた」と感想が出されました。

オンライン企画では宇藤医師の訪問診療時の動画を視聴し生徒との懇談を行いました。生徒からは「宇藤先生が患者さんや家族と楽しそうに話している姿を見て、医師の仕事は病気を治すだけでなく、不安を取り除き、患者さんの心の拠りどころになることなんだと思った」と感想が出されました。

全4回で磯島医師、宇藤医師、工藤珠星医師、工藤甚子医師、佐藤医師、杉山医師、山口医師、小山内事務長、富田看護長、福島看護長に御協力いただきました。

(青森民医連 医師医学生課／伊藤しのぶ)





米軍機F16戦闘機から住宅地へのタンク投棄 事故にあたり県民の安全を求める要請書について

二〇二二年十一月三十日、米軍三沢基地所属のF16戦闘機が飛行中にエンジントラブルの緊急事態に陥り、深浦町の住宅地付近に、二個の燃料タンクを投棄しました。一歩間違えれば人命に関わる大惨事になる可能性があります。

今回の重大事故を受けて、地元自治体や県が「事故の経緯の丁寧な説明」、「原因の究明と再発防止策の確立、報告」を求め、「それらが完了するまで飛行訓練を停止すること」を求めたにもかかわらず、米軍はこれを無視してわずか二日後の十二月二日から訓練を再開しています。今回の事故が「重大事故であり、絶対に再発させてはならない」との認識が米軍にあるのか、甚だ疑問です。

私たち青森県民連は、なによりもいのちと健康を守ることを重視し、医療・介護・福祉活動が続けてきました。今回の重大事故に際し、県民のいのちと暮らしを守る立場から、県に対して左記の内容を要請しました。

1. 今回の重大事故の経緯、原因の究明および再発防止策をまとめ、米軍が県と地元自治体等に対してその内容を公表するよう国に働きかけること。
2. 事故の原因究明と再発防止策が確立・公表されるまで、飛行訓練を中止すること。
3. 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」で提案されているように「事件・事故時の自治体職員の迅速かつ円滑な立入の保障など」が可能となるよう、引き続き日米両政府に対して県としての要請を強めること。

(青森県民連 事務局長／佐藤真人)

連載

第44期 北海道・東北地協事務幹部学校

最終回
加害
参報

北海道・東北地協事務幹部学校が6月の第1クールから2月の第4クールまで計8日開催されました。多くの「学び」がある研修でありました。事前課題・事後課題も多数あり、途中で挫折そうになりましたが無事に全講義へ参加することが出来ました。

「民医連の歴史と綱領」「ものの見方・考え方」「財務3表の見方」「民医連の看護集団・医師集団」「沖縄の歴史、広島での民医連運動」「安心して住み続けられるまちづくりと共同組織」など多岐にわたる講義でありました。講師の方々も錚々たるメンバーで、講義を受講するたびに自分に足りないものを認識し、自分がいかに中途半端であるのかを感じる日々でありました。そのような中、オンラインではありますが同じグループの仲間と切磋琢磨しながら乗り越えることが出来ました。多くの方々を知り合えたことは、今後の民医連運動の中での大きな財産となると感じています。

各講義で多くのことを学び、その中で「自分の決意」としたものは「勇気」と「覚悟」です。これから多くの困難があると思いますが、今回の研修で得た「勇気」と「覚悟」で乗り越えていきたいと思っています。

(青森保健生活協同組合 組織部／野村和志)



県連看護学生小委員会

二〇二二年度

合同総括会議開催

イマドキの学生の特性×コロナの影響

看護学実習生・新卒看護師を

「ともに考え、待ち、成長を願って良いモデルになり☆7誉め3しかりで」

二月二十六日、県連看護学生小委員会合同総括会議をオンラインで開催し、二十名が参加しました。弘前大学大学院保健学研究科 教授 小倉能理子先生から「教育現場における近年の看護学生の傾向・動向」と題して講演していただきました。



近年の若者の特性として、社会性や生活体験の乏しさ・他人の目を気にする・判断力の乏しさ・面倒の避け周りなどがあり、これらが育まれた背景に少子化や情報化社会、多様化社会による価値観の変化がある事を学びました。また、学校ではコロナ禍で非対面の授業が増え、臨地実習は中止・短縮が相次ぎ、技術演習が不十分でリアリティの不足・コミュニケーションを苦手とする学生が増えているとの事。具体的な対応方法についてグループディスカッションを行い、職場全体で学生・新人を迎える体制を整える為に、スタッフ間の情報共有など看護学生委員として推進していく事を参加者全員で確認しました。

(看護学生小委員会／須藤千夏)

2021年衆議院選挙前後アンケート結果

目的

今回 2021 年衆議院選挙の実施にあたり、青森県民医連リハビリ技術者委員会に所属するセラピストを対象に、社会情勢や選挙への興味、関心の程度、投票の有無に関する状況を把握することを目的にアンケートを実施しました。

対象

青森県民医連リハビリ技術者委員会の者
セラピスト 197 名（産育休、非常勤除く）

■アンケート期間

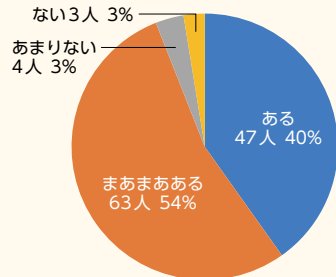
選挙前：2021 年 10 月 13 日～30 日
選挙後：2021 年 11 月 1 日～13 日

■アンケート回収率

選挙前：64.0% (126 人/197 人)
選挙後：68.5% (135 人/197 人)

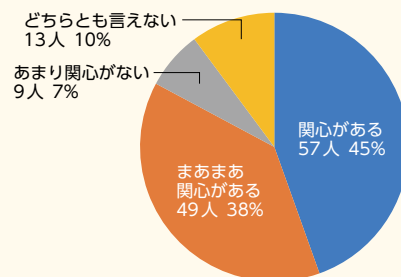
選挙前アンケート

「社会情勢について関心はありますか」



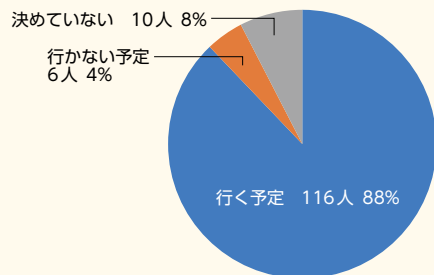
社会情勢への関心はある 40%、まあまあある 54% と比較的高い数値

「2021 衆議院選挙に関心はありますか」



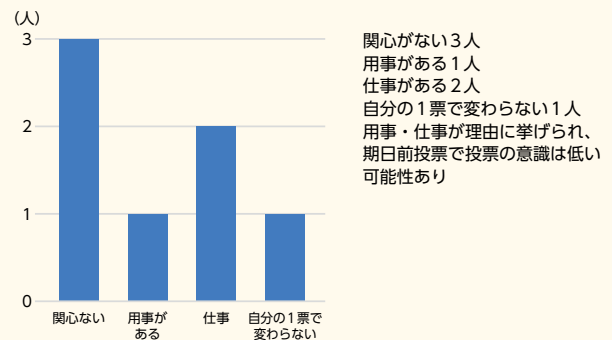
関心がある 45%、まあまああるが 38% と 83% は関心がある。関心がない、どちらとも言えないが 17% (22 人)

「2021 衆議院選挙に行きますか」



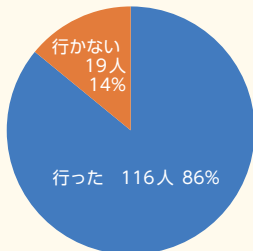
88% (116 人) は行く予定。決めていない 8% (10 人) 行かない予定 4% (6 人)

「投票に行かない理由」



選挙後アンケート

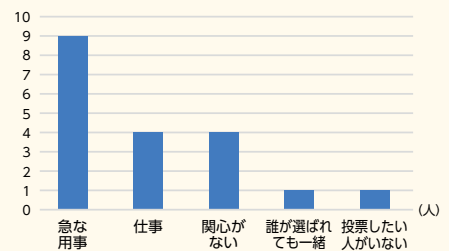
「2021 衆議院選挙の投票に行きましたか」



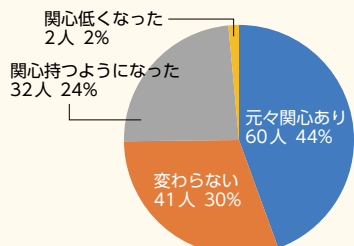
投票へ行かない 14% (19 人)

「[行かない方] で投票へ行かなかった (行けなかった) 理由」

その他の理由
・誰がいいかわからない
・子どもの体調不良

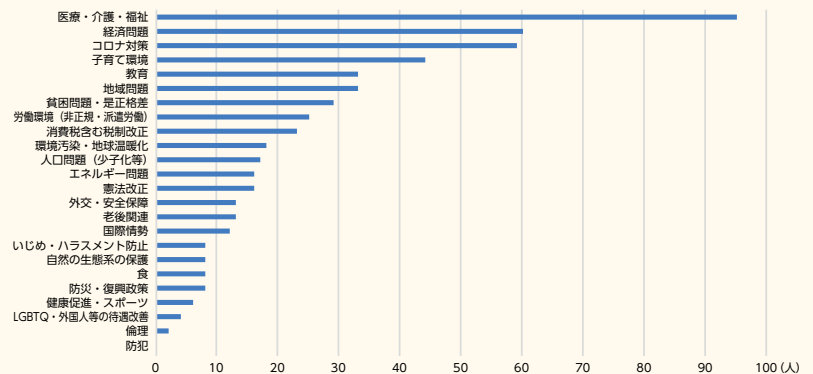


「今回の 2021 衆議院選挙後、社会情勢や選挙への関心に変化はありましたか」



元々関心がある 44% だが、関心を持つようになった 24% と増えている。

「投票先について、重要視した項目を選んでください (複数回答可)」



身近な医療・介護、経済、コロナの他貧困、労働環境なども多い。

まとめ

青森県民医連リハビリ技術者委員会に属するセラピスト197名を対象に、社会情勢や2021衆議院選挙の興味、関心の程度、投票に関する内容を把握することを目的に2021衆議院選挙前後でアンケートを実施しました。

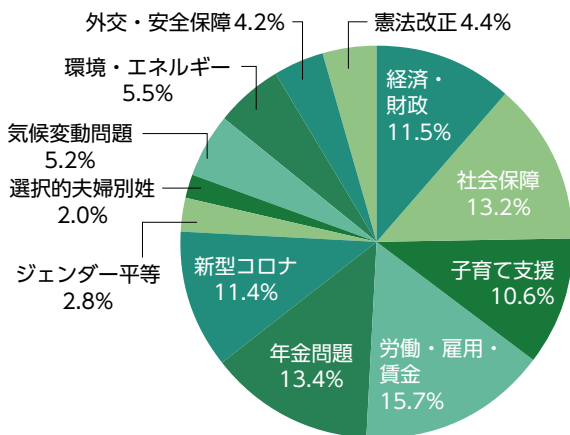
結果は社会情勢への関心は高い傾向が伺えました。また2021衆議院選挙への関心も高い傾向があり、投票の予定は88%（116名）が行く予定とありましたが、4%（6名）は行かない、8%（10名）は決めていないと回答しています。行かない、決めていない理由としては「関心がない、用事がある、仕事、自分の1票で変わらない」などの意見が聞かれていました。選挙後アンケートでは86%（116名）が投票へ行き、14%（19名）は投票へ行かない（行けなかった）という結果となりました。投票へ行かなかった（行けなかった）理由は急な用事、仕事、関心がないなどの意見が聞かれていました。また投票先として重要視した内容は、身近な「医療・介護・福祉」のほか、「経済・コロナ関連・貧困問題」などが挙げられていました。2021衆議院選挙後、24%（32名）の方が社会情勢や選挙へ関心を持つようになったと回答しており、選挙前の投票の呼びかけなども影響していることが予想されます。今後は社会情勢や選挙への関心が低い理由も分析し、民医連の学習に取り入れながら、リハビリ技術者委員会投票率100%を目指して、学習企画などを進めていきたいと思っています。（県連リハビリ技術者委員会事務局長・健生病院リハビリテーション科／對馬健洋）

県連 社保委員会

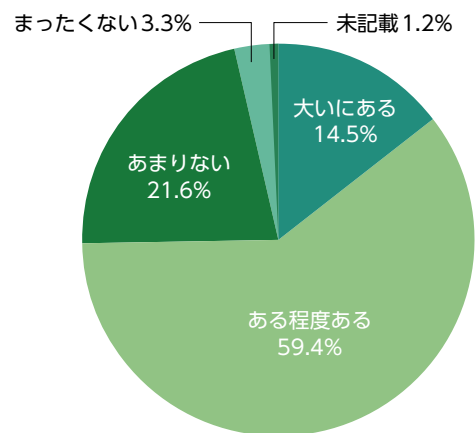
政治と社会に関する問題意識アンケート結果の概要について

昨年10月31日の総選挙を終えて、当委員会は青森県民医連ではたらく全職員2,769人対象に政治と社会に関してどのような問題意識を持っているのかを聞き、民医連運動における今後の課題と展望を検討することを目的に「政治と社会に関する問題意識アンケート」を実施しました。アンケートは1867人（67%）から回答いただきました。【アンケート期間：2021年11月12日～2021年11月30日】

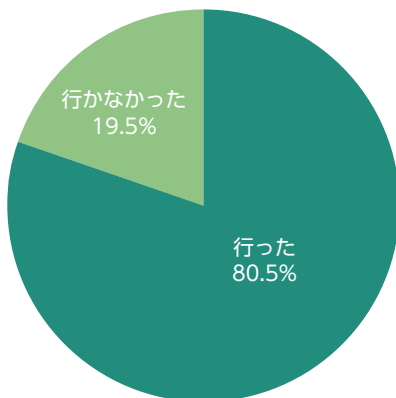
あなたが現在関心がある項目について（複数回答可）



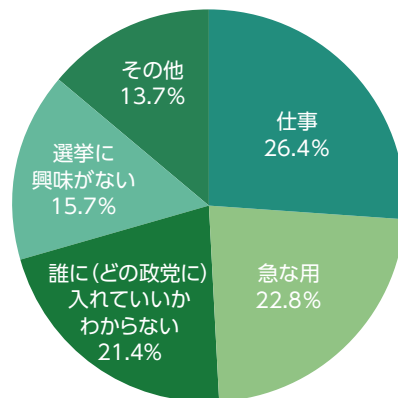
あなたは政治に関心がありますか？



選挙に行きましたか？



行かなかった理由



今回のアンケート集約について、各法人の回収率をみると、特に、医科法人が回収に苦戦したようです。次回アンケートに向けて、法人幹部、事業所の管理者、職責者のタテ線を柱に、全職員にアンケートを呼びかけ、ひとりでも多くの貴重な回答、ご意見を回収されることを呼びかけます。今回「投票に行った」の回答は全体で8割を超えました。「政治に関心ある」の回答も前回を上回り、2013年並みの水準に上昇しています。このことは、職場長が職場の中で「なんのために誰のために」を職員に語り、「選挙に行こう」の取り組みを前進させた成果とうかがえます。そして、「だれに（どの政党に）入れたらいいかわからない」「選挙に興味がない」の回答は伸びしろです。これから気づき、学習を深めることで、署名や投票など、行動につなげましょう。（県連社保委員長／柳谷 円）

うちのメコッコ

vol. 66

♥ name 菊池 晴琉くん
(きくち はる)

♥ age 2 歳

あっという間に2歳になりました。両親の心配をよそにすくすくと成長しています。食べることが大好きで、おなかがすくと両手を合わせ「ちょーだい!」とお願いしてきます。食べさせすぎ



だな…と思いながらも、かわいさゆえについついお菓子を与えてしまいます。保育園へのお迎えはいつもギリギリで、いっしょに遊ぶ時間も少なく寂しい思いをさせ反省の毎日です。息子と過ごす時間をたくさん作っていくのが目標です。言葉にならない笑顔に両親ともども元気をもらっています。ありがとう、ずっと一緒だよ。

(青森民主医療機関労働組合(出向)／菊池一文)



私の三つ星★★★★

オススメ 布ぞうり ～おうち時間ver.～

皆さん『布ぞうりは古い』というイメージはありませんか？実は、布ぞうりはカラフルでかわいく、ポップなものがたくさんあり、履き心地は足にやさしい感じでほっとします。良さを熱く語ってしまいそうですが……布ぞうり使用歴20年、いや、30年です。以前はお店で買っていましたが「いつしか自分で作ってみたい!」と思うようになり、図書館で本を借りて作ってみたり、教えていただいたり、少しずつ少しずつ作れるようになりました。子ども用の小さいサイズから大きいサイズまで色とりどりで色柄も自由自在。今では、家族みんなで布ぞうりを履いて楽しんでいます。出来上がって「かわいい～!」の一言が何とものうれしい時間です。ここで一曲「かあさんが夜なべ～をして、布ぞうりつくってく～れ～た～!」おつきあいいただきありがとうございますございました！

(青森民医連 青森事務所／神めぐみ)



足元で足先に喜んでいます。



鼻緒は日本の名所の柄になっています。足元だけでも日本旅行気分♪

県連事務局人事往来

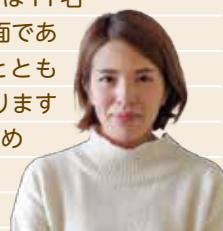
県連事務局として5年間65歳まで、働けたことはとても貴重な経験でした。いつかどこかで見かける機会がありましたら声をかけていただければ幸いです。

退職 つがわ ふみひこ
津川 文彦



2022年度、健生病院の研修医受入は11名で、青森民医連にとって大変重要な局面であるとのこと。プレッシャーを感じるとともに、一からの学びとなるため不安もありますが、先輩方に助けていただきながら努めてまいります。よろしくお願いします。

着任 かねえだ つなこ
金枝 維子



(津軽保健生協 組織部⇒青森民医連弘前事務所)

4年間県連事務局に所属させて頂き、青年分野を担当しました。先輩方から連なるジャンボリー、県独自のピースメイト、青年委員会を運営し、つつがなくとはいえませんがなんとか務めることができました。心残りは青年の健全な成長に最後まで関わられなかったことです。自ら考え、調べ、行動する若者の力を信じ、民医連の未来を託したいと思います。お世話になりました。

帰任 やぎ さわ ひろし (青森民医連青森事務所
八木澤 寛 ⇒生協さくら病院 医事課)



4年間県連事務局員として薬剤師委員会・診療所委員会・機関紙編集委員会、薬学奨学生の担当をさせて頂きました。多くの出会いと学びを得て、民医連職員として働く喜びを感じながら任務を果たすことができ感謝でいっぱいです。ありがとうございました。



帰任 やまぐち りかこ (青森民医連青森事務所
山口 理香子 ⇒生協さくら病院 医事課)

同じ四字熟語を上げられた皆さん

春夏秋冬

- 四季のうつり変わりをるのが好きです。それぞれの季節に良さがあります。
- 毎年毎年、十分すぎるほど四季と共存しながら生活を楽しんでいる。春の桜、夏の猛暑、秋の紅葉、冬の大雪。

一陽来復

- コロナ終息の春が待ち遠しいです。
- 冬が終わり春が来ること。また悪いことが続いたあとで幸福に向かうこと。陰の気がきわまって陽の気にかえる意から来る。早くコロナが終息していつも通り日常生活になれば良いと思う。

一期一会

- その時々のお出合いを大切にしたいので
- 仕事ではいつも心がけている
- 出合いを大切にしたいから
- 日々、人との繋がりは大切なあ〜と感じています。人間関係はお金では買えませんし、かけがえのないものですね !!

切磋琢磨

- 仲間とともに努力し、刺激し合い、結果を残す。一人では成し得ないことが、仲間とともに目標にむかうことで達成する。前向きな言葉だと思います。
- コロナ禍の現在、お互いに協力し励まし合い、終息に向けて団結して行こう

『わたしの好きな四字熟語』を教えてください（自分で作った四字熟語でもOK）

297号(2022年1月号)お年玉プレゼント応募用紙に記載いただいた皆様の『四字熟語』を紹介します。 ※原文を一部掲載しています。

ご自分で四字熟語を考えられた皆さん

脱滅多防(だつメタボ)

- コロナ禍で増えた脂肪と体重を減らし、運動を続けてメタボにならないように予防したい。

強男賢妻

- 2021年大相撲名古屋場所で45回目の優勝を成し遂げた白鵬の言葉です。「強い男の後ろには賢い妻がいる」と、支えてくれた妻への感謝を述べていました。とてもかっこいい、相撲ファンの心をキュン♡とさせた言葉です。



ご当選おめでとうございます!

※応募いただいた時点での所属部署名で掲載しております。

※各法人の県連機関紙編集委員より、今年度中にプレゼントをお届けする予定です。

今回、合計95通の応募がありました、ありがとうございます! 県連機関紙編集委員による厳正な選考と抽選の結果、以下の22名の皆さんが当選しました。おめでとうございます。皆さんから送っていただいたご意見・ご要望を、編集委員一同、参考と励みにしながら一層充実した紙面づくりに努めます。

1等 3,000円 2名

西條 賢子さん(健生介護センター虹 居宅介護支援事業所)
菅原 実冴樹さん(ファルマ藤代薬局)

2等 1,000円 5名

成田 幸子さん(津軽保健生協 ナーシングホームたち)
戸田 祐磨さん(健生介護センター虹 居宅介護支援事業所)
高木 久子さん(健生介護センター虹 居宅介護支援事業所)
成田 美穂子さん(健生クリニック 通所リハビリテーション)
野呂 知美さん(健生クリニック 通所リハビリテーション)

3等 500円 15名

舩甚 清仁さん(青森県医療事業協)
小林 敏子さん(津軽保健生協 ガーベラタウン)
清藤 しのぶさん(藤代健生病院 デイケア科)
鎌田 晋さん(藤代健生病院 デイケア科)
棟方 エミさん(藤代健生病院 3病棟)
原田 千明さん(健生病院 リハビリテーション科)
池田 紗由里さん(あおもり協立病院 リハビリテーション科)
井越 美香子さん(あおもり協立病院 5階)
田代 美樹さん(青森保健生協 本部 経理部)
館山 忍さん(健生介護センター虹 居宅介護支援事業所)

宮田 和歌子さん(健生介護センター虹 居宅介護支援事業所)
山崎 彩菜さん(津軽保健生協 本部教育部)
成田 保菜美さん(健生クリニック 通所リハビリテーション)
台丸谷 花鈴さん((一社)あおもり健康企画 大野あけぼの薬局)
泉谷 亜衣さん(藤代健生病院 外来)

2022年3月 第23回理事会報告

>> 全日本民医連理事会報告

>> 県連出向人事

>> 決裁事項

2023年度採用看護師就職説明会開催について
2021年度卒業看護奨学生配置について

>> 協議事項

青森民医連第56回定期総会関連
新型コロナウイルス対応について

>> 報告事項

全日本民医連第45回総会の報告
地協「平和憲法を守り活かそう」web
学習会の開催案内

ビキニ水爆実験による被曝被害者訴訟
学習会開催のお知らせなど

>> 会務報告/各委員会・医師委員会報告